

## 2022 年度前期 課目案内

曜日	課目名	単位	本科/専攻科	担当講師
月	*公開講座「聖書から聴く～多様な人が共に生きる学び」	4	共通選択	山口里子
月	旧約聖書神学概論	4	共通選択	日高嘉彦
火	*公開講座「組織神学Ⅱ」	4	専攻科必修	朴思郁
火	教会史Ⅰ(初代～宗教改革)	4	共通選択	坂本誠
木	ヘブル語初級	4	専攻科必修	城倉啓
木	新約聖書神学概論	4	共通選択	坂元俊郎
金	*公開講座「信徒のための説教」	4	共通選択	安藤榮二/内藤淳一郎
金	礼拝学Ⅱ(礼拝実践)	4	専攻科必修	松村誠一/菊地るみ子/内藤淳一郎
土	合唱	2	音楽科必修	山中臨在
土	キリスト教音楽史	4	音楽本科必修	星野孝子/山崎美奈
土	作曲・編曲	4	音楽専攻科必修	十時節子
	教会実習	6	専攻科必修	内藤淳一郎
夏期講座	*「バプテストの教会形成Ⅰ」 (アメリカのバプテスト教会の歩みから)	2	8月11～12日	金丸英子(西南学院大学神学部)

## 2022 年度後期 課目案内

曜日	課目名	単位	本科/専攻科	担当講師(予定)
月	*公開講座「旧約釈義:詩編を読む」	4	共通選択	日高嘉彦
月	教会学校論	4	教育専攻科必修	矢野由美
火	教会音楽概論	4	共通選択	江原美歌子
火	教会史Ⅱ(宗教改革～現代)	4	専攻科必修	坂本誠
木	*公開講座「神学入門」	4	共通選択	濱野道雄
木	ヘブル語中級	4	専攻科必修	城倉啓
金	*公開講座「教会カウンセリング」	4	教育専攻科必修	(未定)
金	説教演習	4	専攻科必修	内藤淳一郎
土	合唱	2	音楽科必修	山中臨在
土	和声学	4	音楽本科必修	十時節子
土	指揮法Ⅲ	4	音楽専攻科必修	山中臨在
	卒業論文	6	専攻科必修	内藤淳一郎
冬期講座	*「バプテストの教会形成Ⅱ」 (日本のバプテスト教会の歩みを振り返る)	2	12月26～27日	金丸英子(西南学院大学神学部)

☛「専攻科必修」は神学専攻科と教会教育専攻科の必修課目です。

☛ 開講曜日および担当講師は変更する場合があります。

☛ 2022 年度前期開講方針は神学校ホームページ(<https://tbts.jp/>)をご覧ください。



東京バプテスト神学校

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-1-18

TEL:(03) 3947-5141 FAX:(03) 3947-5145

メール:seminary@tbts.jp

tbts.jp

検索

## 2022 年度前期 東京バプテスト神学校受講案内

本科・神学専攻科・教会教育専攻科・教会音楽本科・教会音楽専攻科・信徒リーダー養成コース・教会音楽奉仕者養成コース

【願書受付】 入学・聴講手続に必要な書類を当神学校に請求してください。  
(神学校ホームページからもダウンロード出来ます。)  
\* 願書に必要な事項を記入の上、3月11日(金)までに郵送してください。  
\* 専攻科・本科・信徒リーダー養成コース入学及び聴講希望者には牧師の推薦が必要です。  
(但し1課目のみ試験聴講の方は不要です。)  
\* 専攻科入学希望者には、教会総会の推薦を必要とします。  
\* 公開講座受講者は入学手続き不要です。

【試験面接】 3月25日(金)午後6時30分  
\* 入学・聴講面接(但し専攻科は筆記試験と面接)  
\* 教会音楽科は、実技及び楽典の試験と面接を行います。

【入学式・オリエンテーション】  
4月8日(金)午後6時30分 於:茗荷谷キリスト教会  
\* 受講手続きがありますので受講者は全員出席してください。

【学 期】 ・前期 4月11日(月)～9月30日(金)  
<夏期休講 8月1日(日)～8月31日(月)>  
・後期 10月11日(火)～2022年3月31日(金)  
<冬期休講 12月19日(月)～2023年1月6日(金)>

【休業日】 主日、水曜日、国民の祝日(但し2月11日は除きます)

【授業時間】 月曜・火曜・木曜・金曜日 午後6時30分～8時30分  
\* 但し、教会音楽科については土曜日午前9時30分～午後3時30分

【入学金】 ・本科・専攻科 100,000円  
・信徒リーダー養成コース 50,000円  
・教会音楽奉仕者養成コース 50,000円

【受講料】 ・在学生(本科・信徒リーダー・音楽奉仕者) 1課目4単位25,000円、2単位12,500円  
・聴講生 1課目4単位30,000円、2単位15,000円  
・専攻科 年間200,000円

【設備費】 一律10,000円(年間)

【通信受講】 通信受講の場合、1課目5,000円の通信事務費が必要です。

【聴 講】 ・どの課目も聴講可能、但し聴講生には卒業・修了資格は与えられません。  
・聴講で取得した課目は本科・信徒リーダー養成コース入学時に単位として認められます。  
・ある1課目だけ試験聴講したい方の入学金、設備費、牧師推薦状は必要としません。  
・卒業生、牧師、後援会会員は1課目4単位30,000円が半額15,000円となります。但し単位は取得できません。

## 2022 年度前期 講義シラバス（＊公開講座）

**＊公開講座「聖書から聴く～多様な人が共に生きる学び」** 月曜日 4単位 山口里子

「聖書によれば同性愛は罪」と広く信じられています。しかし聖書学では30年近く前から、そういう見方は時代錯誤の誤読と指摘されてきました。古代中東の性理解や習慣を学ぶと、聖書の色々な言葉や話に新しいニュアンスが現われてきます。それは性別・民族・身分に関する事柄にも繋がっています。ちなみに、イエス自身が「ユヌコス（男でない男）」と言われたことを肯定的に話したイメージの話が、福音書にはあります。またイエスの伝道活動を継承した最初期クリスチャンたちの「洗礼宣言」では、「男と女」が「一対」として生きる伝統を乗り越える姿勢も示されていると、理解されています。学際的な情報を活用する聖書学の専門的な分析・解釈の少し難しい学びだからこそ、様々な人々と一緒に学び合いつつ驚きの発見も共有しませんか？そして一つの解釈を絶対化せず、一人一人の個性も自由も尊重し合って共に生きる世界に向けて、楽しい学びをしたいと願います。

<テキスト>山口里子『虹は私たちの間に：性と生の正義に向けて』（新教出版社、2008年）

**「旧約聖書神学概論」** 月曜日 4単位 日高嘉彦

ユダヤの言葉に「トラーには七つの顔がある」があります。旧約聖書（ヘブライ語聖書）の多様性は、この書物から三つの宗教を生みだし、ヘレニズムとともに西欧文明の基礎を形作り、また人類の文化や歴史の形成に多くの貢献をしてきました。他方、旧約聖書は「両刃の剣」（ヘブル4:12）であり、既存の信仰、価値観、社会体制を否定し、その時代の人々に新しい道を指し示す力としても作用してきました。本講では旧約聖書が、それぞれの時代にどう読み直されてきたかを概観し（総論）、今日の私たちが旧約聖書をどう読むべきか、具体的に考えます（試論）。テキストはありませんが、参考文献は適宜紹介します。遠隔でおこないますが、できるだけ対話の形で講義を進めたいので、原則顔出し（カメラオン）をお願いします。

**＊公開講座「組織神学Ⅱ」** 火曜日 4単位 朴思郁

本講義は、組織神学の基本的な概念、主題などを学習することにより、神学的知識を熟知するとともに神学的思考を深めることを目指します。そのために組織神学の主要な主題（神学方法論、神論、人間論、キリスト論、聖霊論、救済論、教会論、終末論など）を「神と世界」、「イエス・キリストと人間」、「聖霊と共同体」の三つに区分して主な内容と争点を扱おうとしています。「組織神学Ⅱ」では、「組織神学Ⅰ」で取り扱ってきた「神と世界」、「イエス・キリストと人間」のほかに「聖霊と共同体」に関連するテーマを中心に講義を行い、現代神学の傾向と主題に関する講義を加える予定です。基本的には、「組織神学Ⅰ」に引き続き、ダニエル・L.ミグリオリ『現代キリスト教神学—理解を求める信仰』（私訳）をテキストにする講義を通して組織神学の主な内容を概括的に学びたいと思います。

**「教会史Ⅰ」（初代～宗教改革）** 火曜日 4単位 坂本誠

本講義においては、古代～宗教改革の夜明けに至るまでのキリスト教史の流れを理解し、把握することを目標に致します。古代においては、救世主到来を囑望する世界から初めて、教会教父を経て、キリスト教が公認さる中で起きたキリスト論論争そしてアウグスティヌスの生涯と思想までを学びます。中世においては、ヨーロッパ伝道、教皇権、修道生活を学び、アンセルムス、トマス・アクイナス等の人物に焦点をあてつつ、十字軍、宗教改革前夜までを講義していきます。教科書 フスト・ゴンザレス『キリスト教史上』初代教会から宗教改革の夜明けまで、石田学訳、新教出版社。評価は「出席」「レポート」を予定していますが、授業の中で、発表を担当していただき、その後に講義を行う形態をとります。

**「ヘブル語初級」** 木曜日 4単位 城倉啓

ヘブル語初級においては、ヘブル語の基礎から全体としてのヘブル語文法が何であるのかを学びます。目標は全くの初学者が半年後には聖句を原典で読めるようになることです。教科書は講師の著作である『超入門 ヘブル語のススメ』とその別冊の『語彙集』です。いずれも2022年2-3月にいのちのことば社から出版される予定です。初学者でも15回の講義で全体把握をするために思い切って文法事項をごっそりと削ります。脳内ストレスを減らして楽しく「暗号解読」をいたしましょう。

**「新約聖書神学概論」** 木曜日 4単位 坂元俊郎

①新約聖書神学の基本的な組織神学的な学びを行う。②狭義の歴史を知り、他教派との神学的な違いやバプテスト教会の特徴を知る。③これまでの神学的な新約聖書神学を再考してみる。今後生涯にわたって神学し続ける基本的な思考の学びを行う。<参考図書>『キリスト教神学辞典』（A、リチャードソン/J.ポウデン編。古屋安雄監修 佐柳文男訳 教文館）、カール・バルト『教義学要綱』（井上良雄訳 新教セミナー1. 新教出版社）、日本基督改革派教会訳『ウェストミンスター信仰告白』（新教出版社）等

**＊公開講座「信徒のための説教学」** 金曜日 4単位 安藤榮二/内藤淳一郎

今回は「ローマの信徒への手紙」から、8章18-39節と12章1-21節を取り上げます。8章18-39節は「被造物に呻き、苦難に勝たせてくださる聖霊の執り成しと神の愛」が、12章1-21節は「教会共同体に連なるキリスト者の生き方—礼拝、奉仕、兄弟愛」がテーマとなるでしょう。今の時代に、聖書から私たちに語りかける御言葉を共に聞き、皆と共に分かち合い、御言葉を教会の業として宣教してゆきましょう。

**「礼拝学Ⅱ」（礼拝実践）** 金曜日 4単位 松村誠一/菊地るみ子/内藤淳一郎

①礼拝の本質、礼拝の具体と実際、建築と礼拝音楽、音響効果について学ぶ。（5回：菊地）  
②結婚式、葬儀など各テーマごとに主に「一教会の事例」を紹介しながら学んでいくことにします。（5回：松村）  
③二つの礼典（「バプテスマ式」、「主の晩餐式」）のバプテストの理解とその実際。及び他教派の神学理解を学ぶ。また、教役者（牧師など）の招聘、任職に関わる「按手礼」、「就任式」の実際を学ぶ。（5回：内藤）

**「合唱」** 土曜日 2単位 山中臨在

個性の異なる者たちが互いに聞き合い、受け入れ合い、支え合って一つのハーモニーを奏でて主を賛美する恵みや豊かさを、合唱を通して学ぶ。また、神学校の入学式、卒業式、演奏会等で神学校聖歌隊として奉仕する。本校神学生以外の一般参加者も広く参加を歓迎する。

**「キリスト教音楽史」** 土曜日 4単位 星野孝子/山嵯美奈

「キリスト教音楽」という言葉は、キリスト教的内容を持つ音楽を他の一般の音楽と区別するために用いられ、キリスト教が生まれてから今日に至るまでの二千年にわたる神学的、歴史的、社会的、そして詩や音楽を含む各地域の文化的影響を受けながら、複雑に変遷してきた音楽の総称です。キリスト教音楽史では、私たちが日頃の信仰生活において触れる賛美歌や音楽について、古代から現代まで、その起源と変遷を学びます。

<課題>①キリスト教音楽に関連したテーマを一つ決め、レポートにまとめ、発表する（発表時間、20～30分）。②古典派以降の作曲家について一人を選び、生涯とその活動をまとめる。③キリスト教音楽を鑑賞し、そのレポートを提出する。（詳細は授業にて説明。）

**「作曲・編曲」** 土曜日 4単位 十時節子

音楽の調性、メロディー、リズム、和声など作曲の基本を学んでいきます。編曲に関しては合唱曲への編曲、器楽曲への編曲、コンテンポラリーな音楽への編曲など、さまざまな音楽に対応できるスキルを習得していきます。またそれに必要な楽器の音域、楽譜の書き方、できればPC音楽ソフトの使用方も学べるようにしたいです。編曲・作曲の作品提出が必須。[テキスト]①新版 実用和声学—旋律に美しい和音をつけるために—中田喜直著/音楽乃友社、②教会音楽ハンドブックⅢ—岩坂憲和・大谷レニー・木村敏子・水口憲子・D・A モック共著/日本バプテスト連盟、③新生讃美歌

**＊夏期公開講座「バプテストの教会形成Ⅰ」** 8月11～12日（予定） 金丸英子（西南学院大学神学部）

<テーマ>私たちの来し方を知る：日本に伝えられたバプテスト理解

【講義Ⅰ】バプテストと教会、【講義Ⅱ】イングランドからアメリカへ、【講義Ⅲ】アメリカのバプテスト①：マイノリティー（少数派）としての課題、【講義Ⅳ】アメリカのバプテスト②：マジョリティー（多数派）としての課題、【講義Ⅴ】南部バプテスト連盟結成